

## 令和元年度 奈良県租税教育推進連絡協議会会長賞

### 「税の使い道」

奈良県立大淀高等学校 一年 川崎 葉音

私が税について気になっていることは、消費税が上がることで何が変わるのかです。消費税が上がるというニュースを聞くと嫌だなと思いますが、上がった分が私たちのために役立つこととして見えるように使われた場合は嫌だとは思わないはずです。なので、税が何に使われるかを調べました。

増税分の使い道は、借金減額、子育てへの投資など、社会保障の充実、この大きく三つに分かれます。私にとってはどれもあまり関係がないのではないかと考えたのですが、そうでもないようで、日本の借金を返していくのは今だけではなく、これからも長い時間をかけて返すので若い世代の人が減ってしまうと、それが出来なくなってしまいます。なので、子育てをするための金が必要です。そして、日本の未来を担う子どもたちを増やしていくことが大切だと思います。次に、社会保障とは、聞いたことはありましたが具体的にはどういうものなのか知らずにいました。社会保障は、高齢者の年金、医療、介護などに使われる費用です。いま日本は、高齢者の人口増加により、社会保障費用は増加しています。実際に、国の予算は社会保障費用に最も多く使われています。自分も高齢者になっていくため、必要なものだと思います。

私は、消費税が上がることについて考えましたが、日本の将来のためにしていることだと思えばいいと思います。しかし、税率が上がっても何も変わらずに終わってしまうかもしれないし、一人一人が本当に必要なお金なのかをしっかりと考え直すことが大切だと思います。そのためには、まず税金がどういう使い道で何に使われているかを知って、増税でその目の前の問題を解決できるかを見極める必要があるのではないかと思います。日本の税率は、世界に比べるとまだまだ低くてたくさん変えていく部分はありますが、これからの未来を支える私たちも他人ごととは思わずに、少しでも興味を待って考えていくことが大切だと思いました。